

2008年度

日本一決定!!

第19回麻雀最強戦

意

思

あ

る

麻

雀

7月から3ヶ月をかけ全国で行われた予選を勝ち抜いてきた12名の麻雀猛者。待ち受けるのは過酷なプロ予選を突破してきたプロ中のプロ8名。加え、漫画界、芸能界の雀豪4名。計24名によって華々しくも、渾身の知力、体力、精神力をかけた猛々しい戦いの幕が揚がった。与えられた配牌とツモだけでは栄光は手にできない。そこに、意思、がなければならぬ。強靱な意思は一朝一夕に備わるものではない。不断の精進の結果だ。2008年度、栄えある最強位の称号は誰に与えられたか!?

麻雀戦

近代麻雀 近代麻雀 日本プロ麻雀協会
近トロニクス・マツオカグループ 日本プロ麻雀協会
近連盟 最高位戦日本プロ麻雀協会



第19期最強戦本大会。予選から各人の戦いぶりを見ていた私は、決勝の面子に心が躍った。それぞれが熟達した腕前の持ち主であり、類い稀なる好勝負が予見できたからである。そして、プロ選抜から唯一決勝に残った張敏賢が、どのように三者と戦っていくのか、非常に楽しみであった。

並びは起家から、段谷昭夫・鈴木郁孝・鈴木優・張である。

東1局、南家鈴木(郁)が8巡目にリーチ。

読者予選を勝ち抜いて、見事ここまで残った鈴木(郁)は、日本プロ麻雀連盟のC2選手である。プロ選抜枠から、連盟を代表して今日の本大会に臨んできた荒正義、前原雄大、二階堂亜樹といったそうそうたる顔触れを押さえ、堂々の決勝進出であった。

10巡目、リーチを受けた張はこの国士リャンシャンテン。

ツモ ドラ

半荘1回の勝負である。第31・32期最高位であるトッププロ張は、ラス親に向けての堅実な試合展開を見



観戦記●須田良規
写真撮影●寺内康彦